

資料3

様式変更に係る具体的方策案について

様式変更に係る課題について

- ▶ 様式変更にあたっては、製造面等の課題があり、それらの課題を慎重に検討する必要がある
- ▶ 現行の番号様式においては、地域ごとの同一番号（指定4桁番号）の払い出し能力に限られており、長期に渡る安定的な希望番号制度の運用は困難（※抽選により同一番号を払い出せる個数が少ない）

1. 様式変更にあたっての課題

- 二輪車の設計・製造への影響（ナンバープレートの大きさ変更）
- ナンバープレートの製造ラインへの影響（レイアウトの大幅な変更、コスト面）
- ナンバープレートの製造における技術的な課題（プレスによるひび割れや、塗料の液だれ等）
- 視認性の確保

等

（参考）現行の様式で1週間に1個の抽選番号の払出を行った場合の払底までの期間

○小型二輪 … 4個（ローマ字：なしCLV） × 36個（用途平仮名） = 144個（約3年で払底）



○軽二輪 … 2個（分類番号：1、2） × 39個（用途平仮名） = 78個（約1年半で払底）



2. 具体的方策案の例示について

具体的方策案については、以下の3案を事務局案として例示する（各案の詳細は次ページ以降に記載）。なお、希望番号制度の導入にあたっては複数の事務局案を組み合わせることにより、より長期での運用を可能とすることも考えられる。

（現行）C,L,V+用途平仮名を使用



方策案 1

現行様式の配置のまま、使用する数字およびローマ字を追加



方策案 2

用途平仮名の表示場所を移動し、その場所に数字を追加



方策案 3

用途平仮名の表示場所を移動せず、ローマ字の後ろに数字を追加



※軽二輪も上記方策案に準拠したもので検討

具体的方策案1:使用できる数字及びローマ字を追加

1. 小型二輪の場合

- 未使用のローマ字のうち、駐留米軍用（8文字）、そもそも視認性の観点からナンバープレートに用いる文字・番号として排除していたもの（5文字）を除き、「最大10文字」が使用可能。
- 想定運用年：約10.4年

(現行) C,L,V+用途平仮名を使用



(変更後) C,L,V以外のローマ字も使用可能とし、用途平仮名部分でローマ字も使用可能とする



(参考) 小型二輪のローマ字使用状況

使用中	3字			C								L							V						
駐留軍等	8字	A	B			E			H			K		M					T				Y		
未使用	15字					D		F	G		I	J			N	O	P	Q	R	S	U		W	X	Z



…最大使用可能文字（10文字） ※IOSUZ：視認性の観点から使用不可

1. 小型二輪の場合

- 新たに0～9の「10文字」を使用可能
- 想定運用年：約27.6年

(現行) 用途平仮名は右上で表示



(変更後) 用途平仮名は一連番号の左で表示し、右上は0～9の数字を追加する



2. 軽二輪の場合

- 新たに0～9の「10文字」を使用可能
- 想定運用年：約15.0年

(現行) 用途平仮名は右上で表示
分類番号は地域名の前



(変更後) 用途平仮名は一連番号の左で表示し、右上に0～9の数字を追加する



1. 小型二輪の場合

- CLV以外のローマ字「10文字」も使用可能
- 新たに0~9の「10文字」を使用可能
- 想定運用年：約96.7年
(現行) 用途平仮名は右上で表示



(変更後) C,L,V以外のローマ字も使用可能とし、用途平仮名は一連番号の左で表示し、右上は0~9の数字を追加する



2. 軽二輪の場合

- 分類番号に、「4,5,7」も使用可能
- 新たに0~9の「10文字」を使用可能
- 想定運用年：約37.4年
(現行) 用途平仮名は右上で表示
分類番号は地域名の前



(変更後) 分類番号：4,5,7も使用可能とする
右上：0~9の数字を追加する



1. 小型二輪の場合

- 新たに0~9の「10文字」を使用可能
- 想定運用年：約27.6年

(現行)



(変更後) CLVの後ろに0~9の数字を追加する



2. 軽二輪の場合

- 新たな桁に0~9の「10文字」を使用可能
- 想定運用年：約15.0年

(現行) 分類番号は1又は2

(変更後) 分類番号の後ろの桁：0~9の数字を追加する



1. 小型二輪の場合

- CLV以外のローマ字「10文字」も使用可能
- 新たに0~9の「10文字」を使用可能
- 想定運用年：約96.7年
(現行)



(変更後) C,L,V以外のローマ字も使用可能とし、CLVの後ろに0~9の数字を追加する



2. 軽二輪の場合

- 分類番号に、1又は2以外に「4,5,7」も使用可能
- 新たな桁に0~9の「10文字」を使用可能
- 想定運用年：約37.4年

(現行) 分類番号は1又は2



(変更後) 分類番号：4,5,7も使用可能とする
分類番号の後ろの桁：0~9の数字を追加する

